

あしよろ・ハードサポート通信

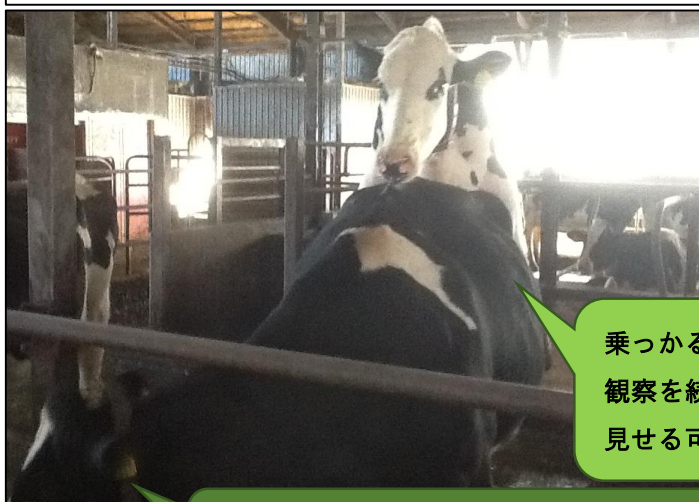
先日、足寄町内の酪農場からご依頼をいただき、従業員さんに向けた繁殖・発情発見についてのプチ勉強会を行いました。若手従業員さんたちからは積極的な意見・質問が続き、ベテランの方々からは幅広い経験談を聞くことができ、とても有意義な時間だったと思います。今回は資料の中から発情発見にターゲットを絞ってまとめていきます。

◆ 乳牛の発情行動

発情行動スコア

発情のサイン	ポイント
外陰部から粘液が出る	3
フレーメン	3
落ち着きがない	5
乗駕されるがじっとしない	10
他の牛の外陰部を嗅ぐ	10
他の牛の背中にあごを乗せる	15
他の牛に乗駕する(マウンティング)	35
他の牛の頭に乗駕する(マウンティング)	45
乗駕を受け入れ動かない(スタンディング発情)	100

(Van Eerdenburg et al., 1996)



発情中の乳牛は、独特の行動を取ります。発情の始まりには外陰部から粘液が出たり、ソワソワと落ち着きない様子を見せたりします。しばらくすると他の牛の外陰部のにおいを嗅いだり、背中にあごを乗せる行動を始めます。さらに時間が進むと他の牛に乗っかるようになり(マウンティング)、最終的には他の牛に乗られてじっとしているようになります(スタンディング)。

スタンディングは、発情ポイント100点です。授精依頼の電話をかけて、当日午後か翌朝での授精の予定を組み立てます。

乗っかる方が、マウンティング(乗駕)。観察を続けると、スタンディングを見せる可能性大。

乗られる方が、スタンディング発情。発情ポイント100点！
台帳で周期を確認して、午後、または翌朝に授精する。

つなぎ牛舎ではスタンディングは見つけづらいですが、いつもよりエサを残している、乳量が減った/乳を下ろさない、搾乳中にちょっかいを出してくる、など、個体管理ならではの变化をキャッチすることで発情発見の精度が上がっていきます。

◆ 発情発見のための時間を作る

酪農家さんに、どうやって発情発見していますか？と聞くと、「発情発見のための時間を作っている」という答えがよく返ってきます。エサ押しや糞かきをしながら見ている方もいます。町内で、牛が外から戻ってきたときに、全頭の尻尾を吊り直している場面に出くわしたことがあります。そこのお母さんは、朝晩、尻尾の吊り外しついでに外陰部の様子を観察して発情発見につなげていると話してくれました。

観察のポイントは毎日同じ時間帯に見回ること、こうすることで「あれ、いつもと違うな？」をキャッチしやすくなります。頭数規模によりますが、発情発見のための時間は1回あたり10～20分程度が多いようです。

◆ 町内で見かけた発情発見の補助アイテムあれこれ ◆



↑ ブリーディング・ボード
ボードを毎日動かして、
発情や妊鑑予定の牛を確認

乳用牛繁殖カレンダー													
水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日
12-23	12-24	12-25	12-26	12-27	12-28	12-29	12-30	12-31					
		100-A1											
1-13	1-14	1-15	1-16	1-17	1-18	1-19	1-20	1-21					
			100-A1										
2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8	2-9	2-10	2-11					

↑ 乳用牛繁殖カレンダー（家畜改良事業団）
21日周期のカレンダーで再発情の追跡を



↑ マーキング用「テルテイル」
尾根に塗って、他の牛に
乗られたかをチェック

写真のように、牧場の誰が見ても、どれが注意牛なのかわかるようにしておくことは、観察する人の目が増えるのでとてもいい方法です。また、牛の首や足に万歩計を付けている酪農場もあります。牛が落ち着きなく歩き回ると歩数が上がり、パソコン画面に「発情かもしれない」と示してくれます。これらのような発情発見補助アイテムは、上手に活用すれば成績アップにつなげることができます。

繁殖成績が良くなると、生産乳量が増える、子牛が増える、過肥牛が減り周産期疾病が起こりづらくなる、など、必ずメリットが出てきます。もしも繁殖成績で悩んでいるのであれば、まずは見回り回数を増やして発情発見、再発情の追跡の精度を高めることにチャレンジしてみてもいいかもしれません。

繁殖成績は、発情発見に限らず、周産期の管理、栄養、肢蹄、乳房炎など、酪農場ごとにさまざまな要素が絡んでいます。気になることがあれば、お気軽にご相談いただけます。
(久富聡子)

- ・ 1月27日 13:30 から子牛の飼養管理について勉強会を開催します。ハードサポート久富がお話します。お子様連れもOKとのことで、にぎやかな会になりそうです。
- ・ 2月は24日 13:30 から村上を講師に乳牛の栄養についての勉強会を予定しています。